

【動物（どうぶつ）好（ず）きのあなたへ】



前川 貴行の
生き物たちの地球

最大の肉食動物 ホッキョクグマ

写真撮影の開始は、クマの仲間を追いかけまわすと思いましたが、自然のなかで生きるクマの姿を見てみただけで、なにより、簡単に近づけない存在に近づいてみたいという気持ちが大きかったからです。なかでもホッキョクグマは、北極という未知なる世界にすむ、自分の暮らしはかけ離れた存在でした。

カナダにあるハドソン湾の雪原で初めてホッキョクグマを見たとき、生きて動いている姿がなんだか不思議に思えました。「本当にいるんだ！」という感じでしょうか。

「ただいま」のイメージは、ふわふわとしてかわいらしいものですが、実際目の前にしたホッキョクグマは少し異なりました。もっちり、親子は伸びつまじく、エグマはぬいぐるみのまじりに寄り添って、愛情たっぷりにお母さんグマの姿を信じている姿がわかります。ですが、お母さんの威嚇は、顔が大人の間が一推しするほど巨大で、その眼光は何を考えているのか理解できません。

雪と氷の凍つく世界にすむ、真っ白い毛皮をまとったホッキョクグマ。クマの仲間には世界にも種類があります。そのほとんどが肉も植物も食べる雑食ですが、ホッキョクグマはアザランが主食のほぼ純粋な肉食で、地球上でも体の大きい肉食動物です。



「いや、ホッキョクグマは、なかなか好意をもっていても、その気持ちが相手に伝わることはできません。これまでもさまざまな生き物たちと接してきて、ひょっとしたら気持ちが通じているものではないかと感じたことは数多くあります。そのうちあれはないかと思いましたが、ベットの隅に、野生動物には人との境界線があります。その上をしっかりと受け入れ、その上をこつこつと歩むと仲良くなれるかを考えています。



前川 貴行 1969年、東京都生まれ。2000年から活動を開始。アフリカから北極まで世界各地の生き物と関わっています。



仲良くゴロゴロして休んでいます

DATA	体高	体長	分布
	2～3メートル	350～800キロ(おす)	北極圏の沿岸域

毎週、かわいい動物の写真が楽しみです。動物の世界は楽しいと思えました。(群馬・6年・都所未理)

感想は、メール(asasho@asagaku.co.jp)か郵便(〒104-8433朝日小学生新聞)で、動物写真1張まで。名前、住所、電話番号、学年を忘れずに。

< 5/10 朝日小学生新聞 より >

家（いえ）で過（す）ごす時間（じかん）が長（なが）くなっていますが、そんな時（とき）、動物（どうぶつ）の姿（すがた）に癒（いや）される人（ひと）も多（おお）いことかと思（おも）います。

今回（こんかい）のコロナウイルスは、動物（どうぶつ）への感染（かんせん）は、ないとされていますが、あらためて動物（どうぶつ）や植物（しょくぶつ）のたくましさを感じ（かん）じずにはいられません。

いろいろな動物園（えん）が、動物（どうぶつ）のサイトを開設（かいせつ）しているので、そんな動画（どうが）などを見（み）るのも良（よ）いかもかもしれません。お家（いえ）の人（ひと）といっしょに探（さが）して見てみましょう。